

**医療アシスタント**  
倉敷市

**加藤 良太**

趣味は野球とサッカー観戦。キャンプでは料理や焚火でまったり過ごします。つばさに来て：様々な役割・資格のある方たちが患者さんの為に試行錯誤して思いや願いを大切にしている姿はとてまかついいなと思っています。最後に：医療に関しては素人ですが、私の立場でできることでサポート出来たら嬉しく思います。

**医療アシスタント**  
岡山市

**田頭 倫子**

趣味：ママさんバレーを始めて16年になります。つばさに来て：家で過ごしたい患者さんやご家族の喜ぶことを考えたり催されたりと、寄り添われているのを実感しました。最後に：患者さんやご家族に寄り添われている先生方や看護師さんに微力ではありますがお役に立てよう勉強しながら頑張ります。

**医療事務**  
岡山市

**池田 有紀**

好きなもの：コーヒー、チョコ、味噌汁。毎日欠かせないものです。つばさに来て：診療に同席して、患者さんだけでなく、ご家族へのケアや声掛けにも気遣いをすごく感じました。最後に：直接診療には携われませんが、1人1人の患者さんを大切に想い、診療が円滑に行えるように連携しサポートしたいと思えます。よろしくお願いいたします。

# つばさ新聞

LINE  インスタ 

**謹賀新年**




## 法人研修を行いました。

テーマ：ACP（アドバンス・ケア・プランニング）

職種の垣根を越えて、皆でACPに触れ、考え、語り合いました。

もしバナゲーム



グループディスカッション



### ACP

ってなに？  
ACP (Advance Care Planning) とは、もしもの時のため、自らが望む医療やケアについて前もって考え、家族や周囲の信頼する人たち、医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取り組みのことです。(厚生労働省 HP より引用)



紹介ムービー (1分4秒)

## ソーシャルワーカーの豆知識

～ほっとパーキングおかやま～

岡山県では身体障害者等用駐車場を必要とする方が、より利用しやすくするために、平成22年12月から「ほっとパーキングおかやま」駐車場利用制度を導入しています。この制度は、身体障害者等用駐車場を利用できる方を明らかにした上で、その対象者に専用の利用証を交付し優先的に利用できるよう適正利用を図るものです。

対象者は、以下の方々です。

- ① 身体障害、知的障害、精神障害がある方
- ② 高齢により歩行が困難な方
- ③ 難病の診断を受けている方
- ④ 妊娠中の方
- ⑤ 怪我などで車いす、杖などの使用が必要であると認められた方



利用証の取得には、県庁障害福祉課、県民局健康福祉部、県保健所のほか、各市町村などで申請を行います。利用証が発行されると公共施設や県と協定を締結した公共施設やスーパーなどに設けられている車いすマークの駐車場で利用できるようになります。対象の方でまだ申請されておられない方はぜひ検討ください。

<p><b>つばさクリニック</b> 定期訪問 午前9時～午後5時 緊急往診 24時間対応</p> <p>診療科目 訪問診療・内科 循環器科・呼吸器科・整形外科 〒710-0047 岡山県倉敷市大島534-1 TEL 086-424-0283 HP: www.tsubasa-clinic.net</p>	<p><b>つばさクリニック岡山</b></p> <p>診療科目 訪問診療・内科・小児科 〒700-0026 岡山県岡山市北区幸還町1-7-7 TEL 086-254-0283 www.tsubasa-okayama.net</p>
--	--



## 想いでエピソード

つばさクリニック 看護師 奥田 瑠里



今回は、私が担当した患者さんとのエピソードをご紹介します。  
 患者さんは76歳の男性で消化器系の癌を患っておられました。  
 訪問診療を開始した当初、日常生活は不自由なく出来ておられましたが、次第に病状が進行してきました。そんなある日、訪問診療に伺った際に、ご本人から「釣りに行くのは無理かな〜？」との言葉がありました。その診療の帰り、私は「当院スタッフが付き添うことで、その願いを何とか叶える事は出来ないでしょうか？」と主治医に相談しました。実は、この患者さん、以前に1人で釣りに出かけた際、現地で体調を崩すという苦い経験がありました。その為、我々にとってもそれは不安でしかありませんでした。しかし、患者さんの釣りに行きたい気持ちを実現するため、主治医と相談し、私たち看護師が付き添う事でその願いをサポートする事にしました。

ご本人と奥様と打合せを行い、当日の釣り道具やイスを準備し、道中の介護タクシーも手配し、念入りな計画を立てその日を迎えました。しかし、その当日、前日までは調子良かったのですが、体力の消耗がすすみ、釣りに行くことを断念せざるを得ない状態になってしまいました。その時の、ご本人と奥様の落胆した残念そうな表情を今でも覚えています。それから約1か月後、患者さんは他界されました。後日、奥様にお聞きしたのですが、ご本人が嬉しそうに釣りの計画書を何度も見てくださっていたそうです。また、奥様より「奥田さんの顔を見ただけで安心できた。奥田さんが担当で良かった。」と言ってくださったことがあります。看護師として心に残る嬉しい言葉を頂きました。

今回、釣り計画を叶えることができず私含め当院のスタッフも落ち込みましたが、奥様の言葉を受けて、辛い闘病生活の中でも、ご本人にとって希望を持って頂けるような支援が出来たのかもしれないと感じています。

私は日ごろから患者さんとの出会いも一つのご縁だと感じています。その一つ一つのご縁をこれからも大切に、そして患者様の大切な人生の一瞬に関わらせて頂いているという姿勢を大切に患者さんと向き合っていきたいと思えます。



## Dr. 岡田の南極物語リターンズ



### 第20回：痩せた！！

1月17日の朝、自分の顔をウェットティッシュで拭いていると、いつもと違う頬骨のゴツゴツさを感じた。鏡を見ると、喉元の肉がなくなり、顔全体が明らかに細くなっている。実は2週間ほど前からズボンがゆるくなり、すり落ち防止のため、出発時よりベルトの穴を2つずらしていた。毎日約5000キロカロリー以上摂取するよう心がけていても、超極寒でハードワークの南極では体力の消耗が早く、どんどん痩せていってしまうのだ。出発の時よりおそらく10kg近く減っているだろう。出発時、丸坊主だった髪も伸び、白髪もかなり増えていた。

午前7時、朝食を摂る。メニューは昨夜の残り物のカレー。食欲は旺盛で体調も問題なし。雪上車の慣らし運転、機連結を手際よく終え、8時に全車キャンプ地を出発した。僕は運転手を担う。痩せて体が軽くなっただけでなく、雪上車が曳く機も燃料が減り、軽くなっている。進むペースが上がってきた。ここから最終目的地のS16までは残り160kmの距離。前だけ向いて突き進む。



### 在宅生活をサポートする医療・介護サービスのご紹介

### 訪問リハビリテーション



つばさクリニック岡山 言語聴覚士 妹尾 郷史

当院では医療機関からの訪問リハビリテーションを言語聴覚士（以下ST）のみ提供しています。介護保険と医療保険のどちらも対応しています。

**主に対象となる方**（※小児は当院が主治医の場合のみ対応）

- 摂食嚥下障害：むせることが増えた、お口からも食べて貰いたい
- 構音障害、音声障害：声が小さくなってきた、呂律が回りにくく会話しにくい
- 失語症：脳卒中などの原因で「聞く、話す、読む、書く」ことが難しい
- 高次脳機能障害：注意や集中力の低下、記憶力の低下
- 自閉症スペクトラム障害や言語発達遅滞

※ 当院には管理栄養士も在籍しており、チームで食支援に注力しています。  
 様々な理由で「食べる」ことに悩まれている方に専門的な職種が様々なアプローチでその悩みや望みに対処します。お気軽にご相談ください。



### お問合せ先

つばさクリニック TEL086-424-0283  
 つばさクリニック岡山 TEL086-254-0283